

令和2年国勢調査結果速報(本市独自集計)

— 福岡市の人口及び世帯数 —

(令和2年10月1日現在)

概要

- 令和2年国勢調査(10月1日現在)の人口及び世帯数の速報値は、次のとおり。

人 口 **1, 613, 361人**
(平成27年比 74,680人増 4. 9%増)

世帯数 **827, 083世帯**
(平成27年比 62,263世帯増 8. 1%増)

- 人口は160万人を超え、5年間の増加率は4. 9%。
- 行政区別では東区が32万2千人で最多。増加率は博多区が10. 4%でトップ。
- 1世帯当たりの世帯人員は1. 95人で、前回より0. 06人減。
世帯の小規模化がさらに進む。
- 人口密度は4,697人/K m²で、前回より217人増。

この速報値は、本市において独自集計したもので、後日、総務省統計局から公表される人口速報と異なる場合があります。

令和3年6月

令和2年国勢調査結果速報

[概況]

人口	1,613,361人	(平成27年比 74,680人増)	4.9%増
世帯数	827,083世帯	(平成27年比 62,263世帯増)	8.1%増

令和2年10月1日現在で実施した「令和2年国勢調査」による福岡市の人口は1,613,361人、世帯数は827,083世帯となっています。

前回調査(平成27年)の確定値と比べ、人口は74,680人(4.9%)増加しました。

また、世帯数は、62,263世帯(8.1%)の増加で、人口の約1.7倍の増加率となっています。

1. 人口の推移

－ 人口は160万人を超え、5年間の増加率は4.9% －

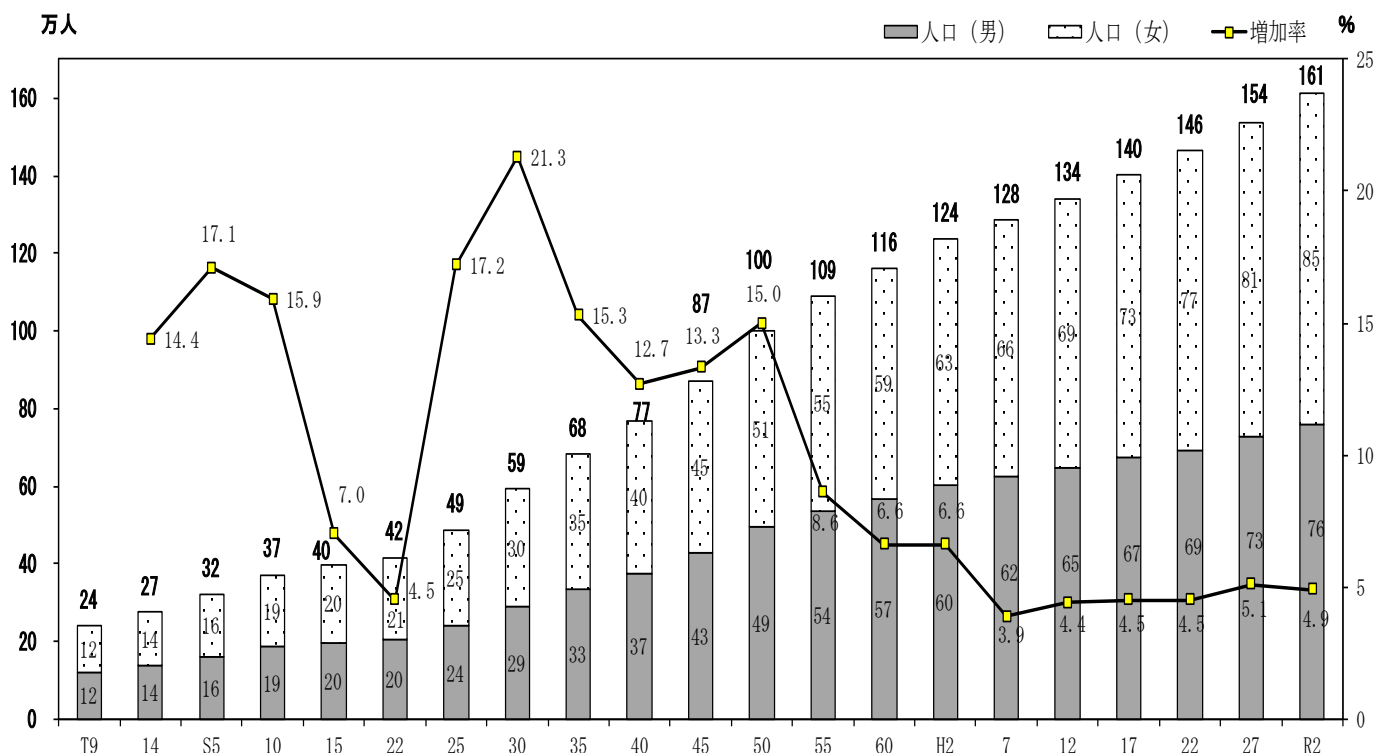
国勢調査人口を現在の市域に組み替えた数値によりその推移をみると、第1回国勢調査(大正9年)では、約24万人でしたが、昭和30年には50万人を超え、昭和50年に100万人を突破し、平成27年には150万人を超え、今回は160万人を超えました。

本市の人口は、大正9年の第1回調査以来、男女ともに一貫して増加を続けており、令和2年までの100年間に約137万人増加し、約6.7倍となっています。

人口の増加率をみると、昭和25年から昭和50年までは昭和30年の21.3%を最高に10%を超える増加率で推移し、その後増加率は鈍化傾向を示していました。平成7年の3.9%を底に、以降は上昇傾向にあります。今回の増加率はやや低下しています。

[表2、表3、図1]

図1 人口及び増加率の推移



2. 区別人口の推移

－ 人口は東区が最多、増加率は博多区が10.4%でトップ －

行政区別人口をみると、人口が最も多いのは東区で、322,683人(構成比20.0%)、次いで、南区265,753人(同16.5%)、博多区252,153人(同15.6%)、早良区221,486人(同13.7%)、西区212,729人(同13.2%)、中央区205,610人(同12.7%)、城南区132,947人(同8.2%)の順となっています。

前回からの人口増加数は、博多区の23,712人をトップに、東区16,668人、中央区12,922人、南区9,956人、西区5,861人、早良区3,609人、城南区1,952人と、全ての行政区で増加しています。

人口増加率でみると、博多区の10.4%、中央区の6.7%、東区の5.4%は、全市平均の4.9%を上回っています。

[表1、表2、図2、図3、図4]

図2 行政区別人口の推移

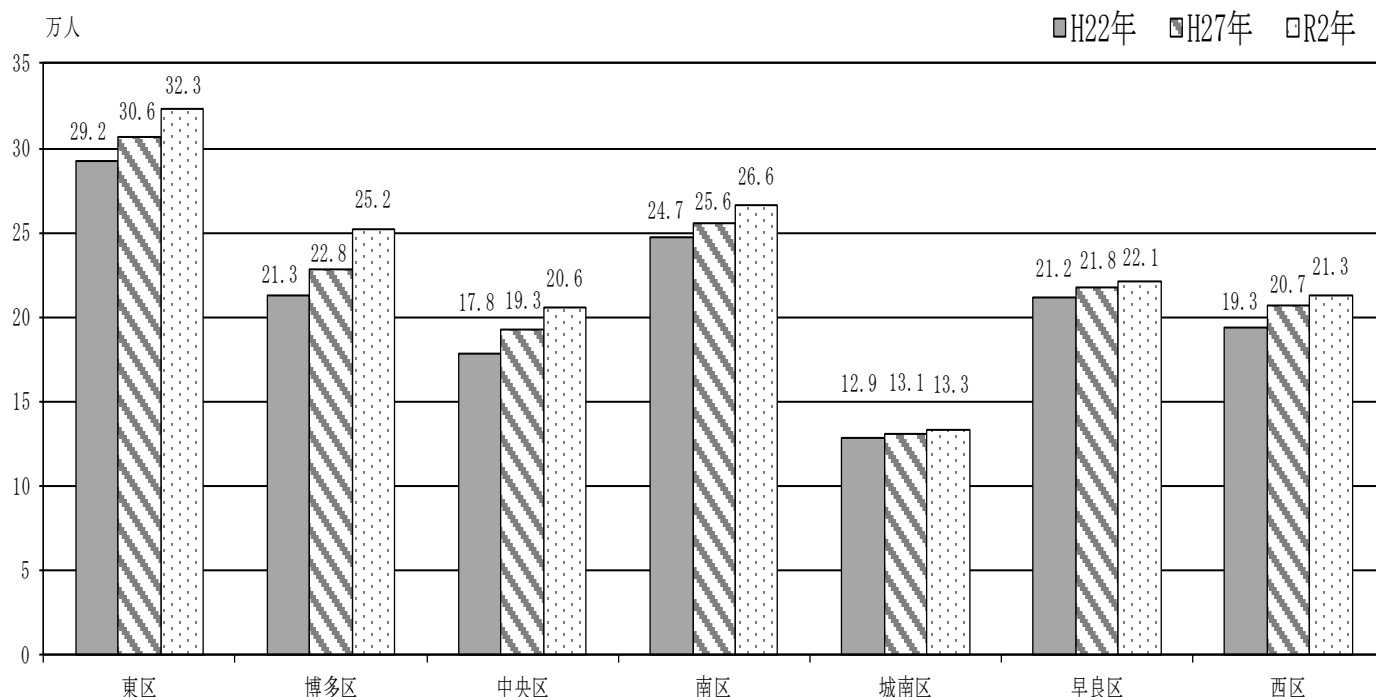


図3 行政区別人口増加率の推移

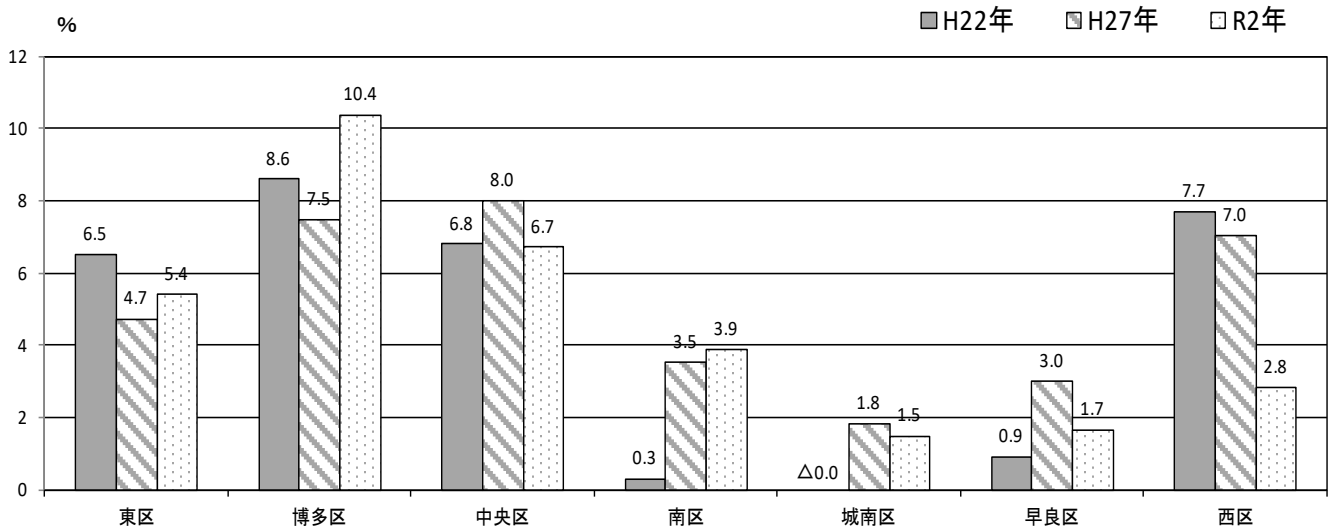
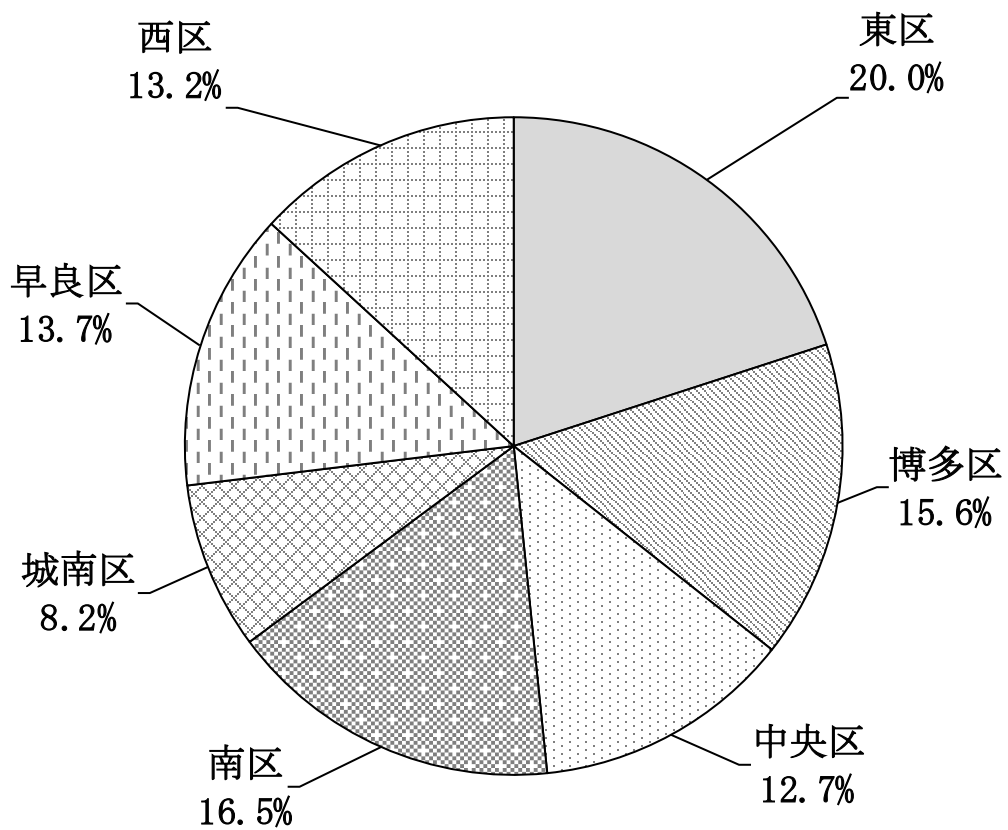


図4 行政区別人口構成



3. 世帯数・世帯人員

－ 1世帯当たりの世帯人員は1.95人で、前回より0.06人減。

世帯の小規模化がさらに進む。－

世帯数は、827,083世帯で、前回から62,263世帯(8.1%)増と、人口の増加率(4.9%)を大きく上回っています。

1世帯当たりの世帯人員は、1.95人となっており、前回の2.01人より0.06人減と、世帯の小規模化がさらに進んでいます。

行政区別の1世帯当たりの世帯人員をみると、西区が2.25人と最も多く、次いで早良区2.20人、東区と南区が2.07人、城南区1.98人、博多区1.64人、中央区1.62人の順となっており、博多区、中央区は全市平均を下回っています。

[表1、表2、表3、図5、図6]

図5 世帯数等の推移

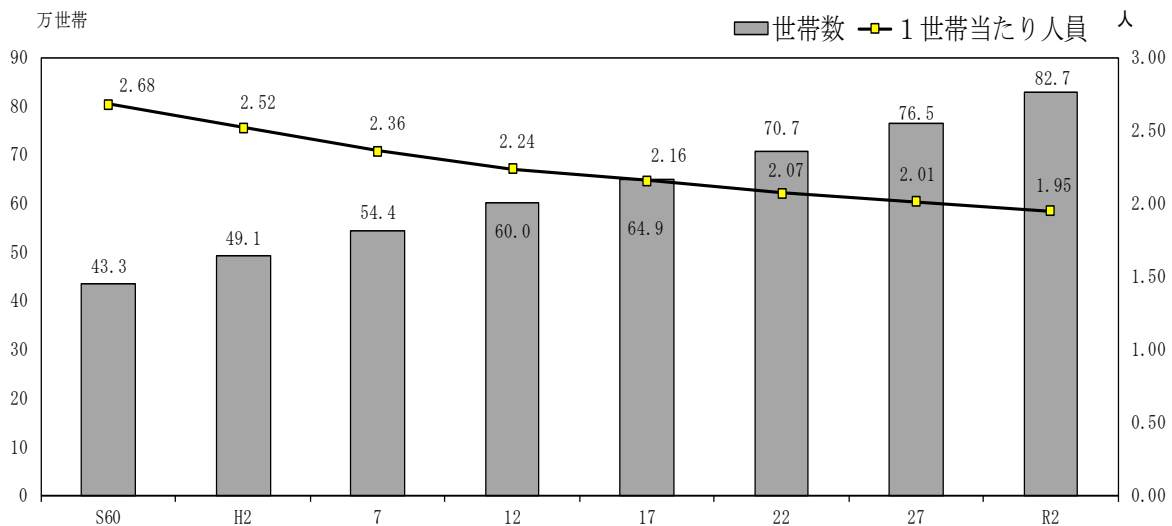
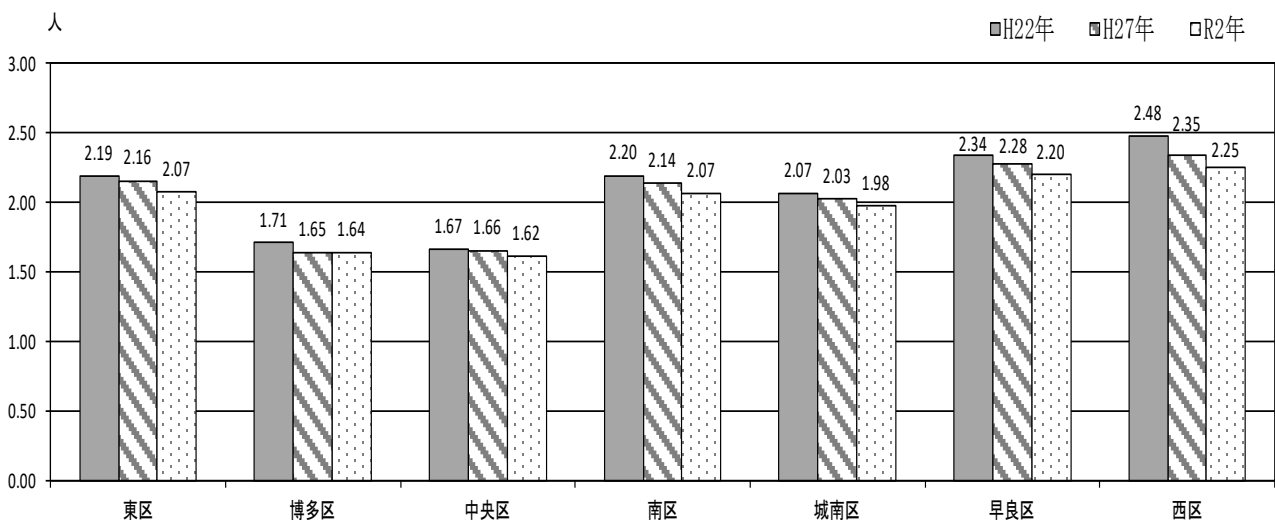


図6 行政区別1世帯当たり世帯人員の推移



4. 人口密度

－ 人口密度は4,697人／K m²で、前回より217人増 －

全市の人口密度は1平方キロメートル当たり4,697人で、前回の4,480人に比べ217人の増加となっています。

行政区別にみると、中央区が13,360人で全市の約2.8倍と最も高く、次いで南区8,578人、城南区8,314人と続き、最も低いのは早良区の2,310人で、中央区は早良区の約5.8倍の人口密度となっています。

[表1、図7]

図7 行政区別人口密度

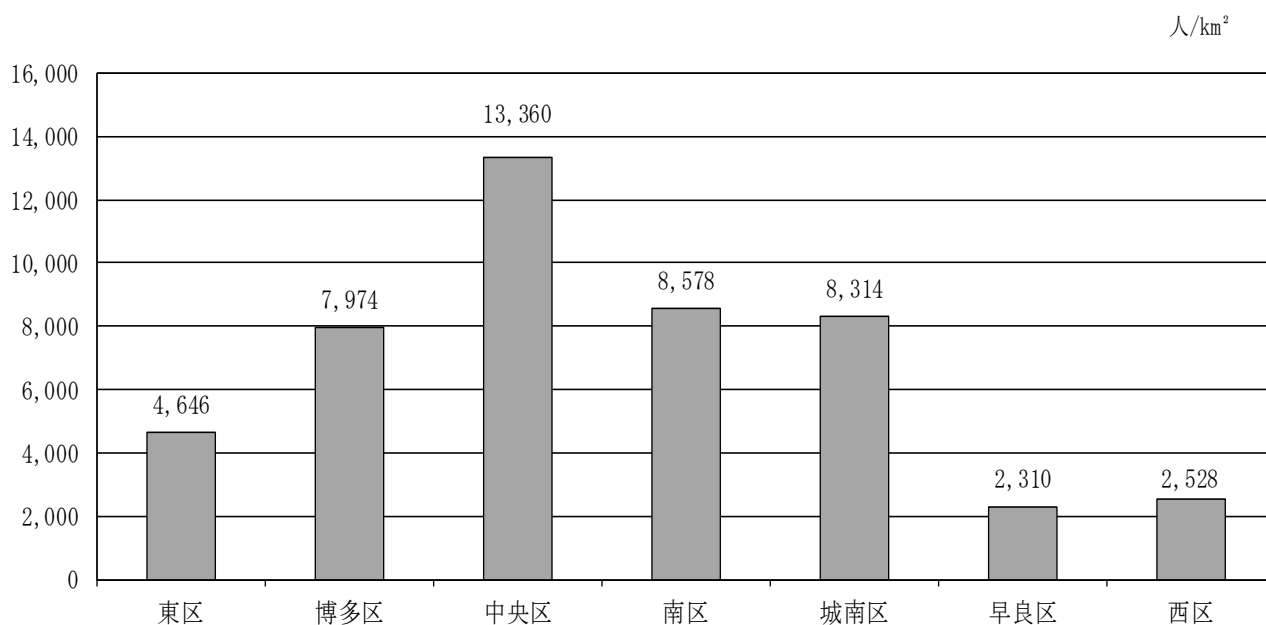


表1 令和2年国勢調査調査結果(速報値)

令和2年10月1日現在

市・区	面積 (km ²)	世帯数	人口			人口 構成比(%)	1世帯 当たり 人員	人口密度 (人/km ²)
			男	女				
福岡市	343.46	827,083	1,613,361	760,972	852,389	100.0	1.95	4,697
東区	69.45	155,581	322,683	156,742	165,941	20.0	2.07	4,646
博多区	31.62	153,462	252,153	121,596	130,557	15.6	1.64	7,974
中央区	15.39	127,018	205,610	92,431	113,179	12.7	1.62	13,360
南区	30.98	128,536	265,753	122,824	142,929	16.5	2.07	8,578
城南区	15.99	67,302	132,947	62,309	70,638	8.2	1.98	8,314
早良区	95.87	100,577	221,486	104,188	117,298	13.7	2.20	2,310
西区	84.15	94,607	212,729	100,882	111,847	13.2	2.25	2,528

1. この数値は、本市において独自に集計したものであり、後日、総務省統計局から公表される人口速報と相違する場合があります。
2. 面積は、令和2年10月1日現在の国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」によります。
3. 単位未満は四捨五入していますので、総数とその内訳の合計が必ずしも一致しないことがあります。

表2 平成22年、平成27年及び令和2年国勢調査世帯数及び人口

市・区	平成22年					平成27年					令和2年				
	世帯数	増加率	人口	増加数	増加率	世帯数	増加率	人口	増加数	増加率	世帯数	増加率	人口	増加数	増加率
福岡市	707,358	9.0	1,463,743	62,464	4.5	764,820	8.1	1,538,681	74,938	5.1	827,083	8.1	1,613,361	74,680	4.9
東区	133,165	10.0	292,199	17,718	6.5	141,682	6.4	306,015	13,816	4.7	155,581	9.8	322,683	16,668	5.4
博多区	124,266	18.2	212,527	16,816	8.6	138,832	11.7	228,441	15,914	7.5	153,462	10.5	252,153	23,712	10.4
中央区	106,966	11.4	178,429	11,329	6.8	116,186	8.6	192,688	14,259	8.0	127,018	9.3	205,610	12,922	6.7
南区	112,423	2.7	247,096	729	0.3	119,637	6.4	255,797	8,701	3.5	128,536	7.4	265,753	9,956	3.9
城南区	62,266	1.4	128,659	△4	△0.0	64,606	3.8	130,995	2,336	1.8	67,302	4.2	132,947	1,952	1.5
早良区	90,254	3.6	211,553	1,983	0.9	95,735	6.1	217,877	6,324	3.0	100,577	5.1	221,486	3,609	1.7
西区	78,018	13.2	193,280	13,893	7.7	88,142	13.0	206,868	13,588	7.0	94,607	7.3	212,729	5,861	2.8

注)平成22年(世帯数の増加率、人口の増加数及び増加率)は、平成17年比である。

表3 国勢調査人口の推移

回	実施年	世帯数	人口		人口増加数	人口増加率	人口(男)		人口(女)		
			男	女			増加数	増加率	増加数	増加率	
第1回	大正 9年 (1920年)	45,532	239,956	121,294	118,662	%	%	%			
第2回	14年 (1925年)	52,992	274,415	137,791	136,624	34,459	14.4	16,497	13.6	17,962	15.1
第3回	昭和 5年 (1930年)	60,392	321,276	161,631	159,645	46,861	17.1	23,840	17.3	23,021	16.8
第4回	10年 (1935年)	69,595	372,499	185,213	187,286	51,223	15.9	23,582	14.6	27,641	17.3
第5回	15年 (1940年)	77,122	398,468	196,461	202,007	25,969	7.0	11,248	6.1	14,721	7.9
第6回	22年 (1947年)	91,065	416,322	204,962	211,360	17,854	4.5	8,501	4.3	9,353	4.6
第7回	25年 (1950年)	106,752	487,885	238,763	249,122	71,563	17.2	33,801	16.5	37,762	17.9
第8回	30年 (1955年)	126,780	591,868	289,024	302,844	103,983	21.3	50,261	21.1	53,722	21.6
第9回	35年 (1960年)	165,540	682,365	334,040	348,325	90,497	15.3	45,016	15.6	45,481	15.0
第10回	40年 (1965年)	210,069	769,176	374,102	395,074	86,811	12.7	40,062	12.0	46,749	13.4
第11回	45年 (1970年)	264,823	871,717	426,599	445,118	102,541	13.3	52,497	14.0	50,044	12.7
第12回	50年 (1975年)	333,928	1,002,201	493,362	508,839	130,484	15.0	66,763	15.7	63,721	14.3
第13回	55年 (1980年)	397,013	1,088,588	536,765	551,823	86,387	8.6	43,403	8.8	42,984	8.4
第14回	60年 (1985年)	433,348	1,160,440	568,166	592,274	71,852	6.6	31,401	5.9	40,451	7.3
第15回	平成 2年 (1990年)	490,915	1,237,062	603,548	633,514	76,622	6.6	35,382	6.2	41,240	7.0
第16回	7年 (1995年)	544,176	1,284,836	624,649	660,187	47,774	3.9	21,101	3.5	26,673	4.2
第17回	12年 (2000年)	599,989	1,341,470	647,816	693,654	56,634	4.4	23,167	3.7	33,467	5.1
第18回	17年 (2005年)	649,138	1,401,279	673,097	728,182	59,809	4.5	25,281	3.9	34,528	5.0
第19回	22年 (2010年)	707,358	1,463,743	692,648	771,095	62,464	4.5	19,551	2.9	42,913	5.9
第20回	27年 (2015年)	764,820	1,538,681	726,666	812,015	74,938	5.1	34,018	4.9	40,920	5.3
第21回	令和2年 (2020年)	827,083	1,613,361	760,972	852,389	74,680	4.9	34,306	4.7	40,374	5.0

注)人口、世帯数は、現在の市域に組み替えたものです。